

令和5年10月13日

東京都歴史教育研究会会員 各位

東京都歴史教育研究会会長 関山 勝之
(東京都立葛西南高等学校長)
東京都歴史教育研究会副会長 南 和男
(東京都立武蔵高等学校・附属中学校長)

令和5年度 東京都歴史教育研究会秋季講演会のご案内

秋涼の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本研究会の活動にご協力ご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり開催いたします。校務ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願いかたがたご案内申し上げます。

記

1 日 時 令和5年11月18日(土) 午後3時から午後5時まで

2 会 場 東京都立武蔵高等学校・附属中学校
住 所 東京都武蔵野市境4-13-28
電 話 0422(52)4554
アクセス JR中央線「武蔵境」駅下車、北口より徒歩10分

3 講演会

(1) 講 師 専修大学 教授 志賀 美和子 氏
東京大学大学院人文社会科学研究所博士課程 単位取得満期退学 博士(文学)
専門分野はインド近現代史。植民地支配やナショナリズムが生み出す諸問題を、周縁におかれた人々の視点から考察。具体的研究テーマは、非バラモン運動と「不可触民」解放、ヒンドゥー・ナショナリズムと政教分離主義など。主な著作として、『近代インドのエリートと民衆 民族主義・共産主義・非バラモン主義の競合』(有志舎/2018)

(2) 演 題 「サティー(寡婦殉死)ーイギリス支配とインド社会再考」
インドには女性を劣った性とする思考に基づく諸慣習がある。幼児婚、寡婦再婚の制約などである。これらの慣習は、インドの後進性を示す前近代的伝統の残滓とみなされがちだが、実はイギリス支配下でヒンドゥー教徒全般に広まった。本日は、今なお散発するサティー(寡婦殉死)の慣習を事例に、イギリス支配がインド社会に与えた影響を再考したい。

(3) その他 当日は来場型とZOOMによるライブ配信の予定となっております。
ZOOMでの視聴を希望する場合は以下のURLかQRコードにて申し込みを行ってください。
<https://forms.office.com/r/FnGY68eKQe>

後日ミーティングIDとパスコードをお送りします。



【問合せ先】

東京都歴史教育研究会
事務局(東京都立武蔵野北高等学校)
事務局長 細川 貴之
電 話 0422(55)2071